



Lagrangian point

Telepathy

2019. 2.8 Fri. - 24 Sun.

Kinoshita Yuuji

Urano Kisato

Gallery P A R C
GRAND MARBLE



Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では会場提供による大学協力展として、2019年2月8日(金)から2月24日(日)まで、愛知県立芸術大学 大崎のぶゆき研究室の主催・企画による[Lagrangian point -Telepathy-]を開催いたします。本展は日本の中間地点「愛知」という場所を「ラグランジュポイント」と名付け、そこに浮かび上がる表現から彼らの思考や視点を知り、考察を進める試みであり、2014年の「Lagrangian point」、2015年の「Lagrangian point -パースペクティブカスタマイズ-」、2016年の「Lagrangian point -To Form-」、2017年の「Lagrangian point -Drive on the Halfway-」に続き5回目の開催となります。

(以下、主催者によるテキスト)

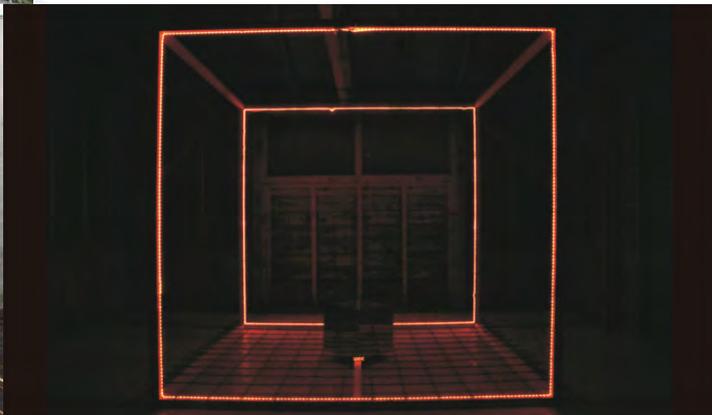
「ラグランジュポイント -テレパシー-」

本展「ラグランジュポイント」は、愛知県立芸術大学油画専攻の在学および卒業生を紹介する企画として開催してきました。彼らが日本の中間地点「愛知」という場所で思考したこと、表現しつつあるものを紹介することで彼らの「視点」を考察する試みです。

これまで、過去4回に渡って表現の強度を練り上げつつある卒業生や、特殊な様態が表出しつつある在学生などを紹介してきましたが、5回目となる本展でも前回(2017年)と同様に『何かを発見し始めた(ような)』作家を紹介する場として、木下雄二と浦野貴識の2名を紹介いたします。木下雄二は「他者に対して行う様々なアプローチや、反対に他者が私に対して与える影響等について」を考えることから制作しています。また浦野貴識は自身のイメージソースとなっているディスプレイや什器の「丁寧に誠実な“語り”を鑑賞体験として与えられる」経験から知覚に関する問題を取り上げています。二人の作品の本質はまるで異なっていますが、彼らの制作の過程はまるで「テレパシー」を発する訓練のようであり、自分というパルスを試しながらチューニングしていくようでもあります。彼らの表現を通して、関西でも関東でもない日本の中間地点の魅力を発見する機会になれば幸いです。

(大崎のぶゆき/美術作家)

おもにインスタレーションの手法を用いる浦野貴識(うらの・きさと / 1996年 愛知県生まれ)と、映像による木下雄二(きのした・ゆうじ / 1994年 奈良県生まれ)の2名による本展では、それぞれの視点やコンセプトは異なるものの、どちらもまだ未分化であることの魅力や可能性、あるいは葛藤やもどかしさを目撃いただければ幸いです。



本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上【info@galleryparc.com】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 Lagrangian point -Telepathy-

出展作家 浦野 貴識 URANO Kisato / 木下 雄二 KINOSHITA Yuji

会 期 2019年2月8日[金] - 2月24日[日] 11:00~19:00 月曜日休廊 / 金曜日のみ20:00まで

主 催 愛知県立芸術大学 大崎のぶゆき研究室

監 修 大崎のぶゆき(美術家 / 愛知県立芸術大学准教授)

協 力 Gallery PARC(グランマール ギャラリー・パルク)

料 金 無料

会 場 Gallery PARC[グランマール ギャラリー・パルク] 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F [MAP](#)

ア ク セ ス 地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急京都線「烏丸」駅22・24番出口より徒歩7分。地下鉄烏丸線・地下鉄東西線「烏丸御池」駅より徒歩7分。室町通・六角通 北東角 室町通側入り口より2Fへ

問い合わせ Gallery PARC (正木・村田・岡田) 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F

TEL= 075-231-0706 FAX= 075-231-0703 MAIL= info@galleryparc.com HP= www.galleryparc.com

浦野 貴識

URANO Kisato

消費行動へいざなう商業施設のディスプレイや什器のレイアウト。または屋外広告。

生活の中で度々目撃するであろう、その装置たちのコントラストの効いたイージーなイメージや蠱惑的な態度、繰り返される同音同義のメッセージには辟易する人が多いかもしれない。

しかし彼らは、人間の身体や無意識を徹底的に規格化した姿かたちで私たちに対して実に丁寧に誠実な“語り”を鑑賞体験として与えられる。

そんな日常のリアリティの象徴ともいえるディスプレイ達を視覚表現の“語り”として、聖性、内と外など根源的な人間の知覚に関する問題に接続を試みる。

1996 愛知県生まれ

2018 愛知県立芸術大学 美術学部油画専攻
四年在籍

展覧会

2018 「MOTIVATE」 愛知県立芸術大学芸術祭

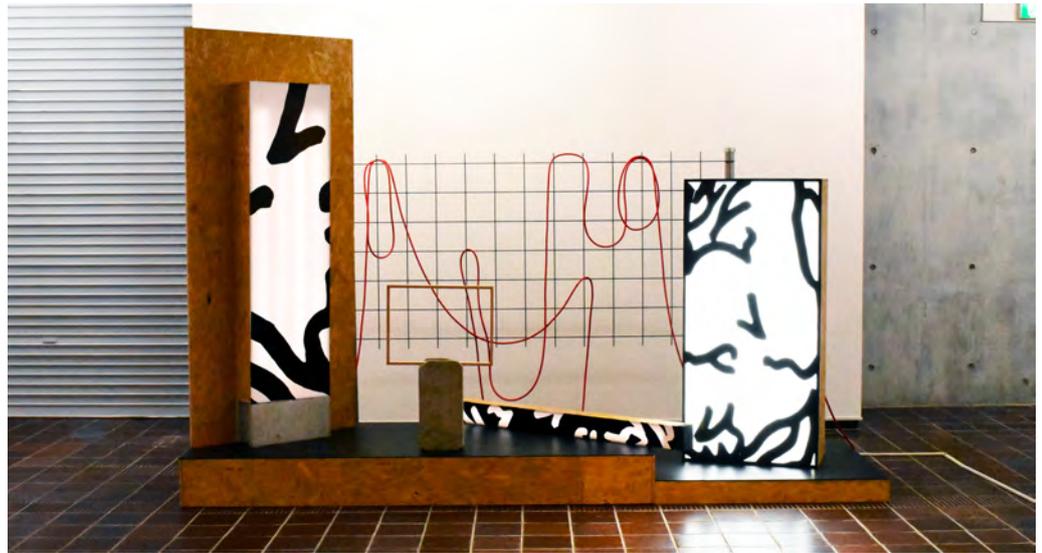
2017 愛知県立芸術大学×常滑市「鈴溪藝塾」
滞在制作

— 「IN SPACE」学食二階次元 愛知

2016 「ルーレント今池」名古屋市内ウィーク
リーマンション企画

— 「せっせっせーのよいよい展」ギャラリー
一彩 愛知

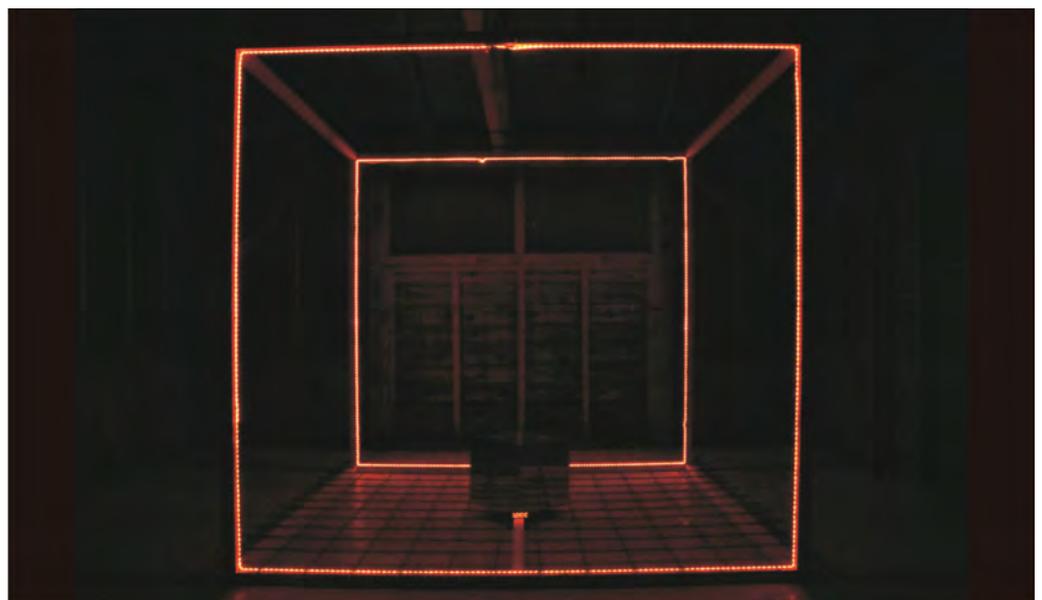
2015 「プレブレその後展」ギャラリー
矢田 愛知



《lines》 2018 ミクストメディア 900×2700×2000mm



《narrative》 2018 ミクストメディア サイズ可変



《present》 2017 ミクストメディア サイズ可変

木下 雄二

KINOSHITA Yuji

私は、「他者」という存在について探究することをテーマに創作活動を行っている。私が他者に対して行う様々なアプローチや、反対に他者が私に対して与える影響等について考え、そうした行為・行動などを擬似的に行う(もしくは受ける)。

その結果、生まれた物体、ないし記録や資料を作品として提示する。

こうした思考方法から、自分と他者の関係を社会の縮図として捉え、日常の些細な事柄から社会に孕む様々な問題について考察し、制作しようと試みている。

1994 奈良生まれ。

2017 武蔵野美術大学 油絵学科版画専攻卒業

2018 愛知県立芸術大学大学院 美術専攻科 油画・版画領域在籍

展覧会

2018 3大学/タイ・日本国際交流版画展(シラパコーン大学・タイ)

- 拡張する知覚(愛知県立芸術大学 芸術資料館・愛知)
- 第13回タグポート・アワード(世田谷ものづくり学校・東京)

2017 第6回NBCメッシュテックシルクスクリーン国際版画ビエンナーレ(有楽町朝日ギャラリー・東京)

- DxPressions/Printmaking(名古屋造形大学 Dギャラリー・愛知)

2014 グループ展「再結集展」(Antenna Media・京都)



《I talked with my friends today.》 2018 映像(9分19秒) サイズ可変



《本、人》 2018 デジタルプリント 300×240mm

